

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 令和 6 年 2 月 28 日

事業所名 放課後等デイサービス 明日の輪

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	3	曜日によって人数が多い時は狭く感じるが、外出等して楽しく過ごせる工夫をしている。 児童の特性によってはもう少し広いスペースが欲しいが、静養室等の別スペースも活用している。	人数によっては狭いと感じるが、限られたスペースを有効活用して、楽しく過ごせる様に工夫していく。
	2	職員の配置数は適切である	7	1	送迎等で厳しい状況の時は、他事業所と連携して送迎を組んでいる。	体調不良等が無ければ問題ない時もあるが、体調不良等があると厳しい状況もあるが、送迎を余裕を持って組むために連携等で無理ない様に組んでいる。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8	0		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	8	0		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	2		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	毎月の内部研修や外部研修を受講している。	今後もZOOMが多くなるが、外部研修を受けられる時に受けていきたい。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	1		定期的に保護者様と連絡を取って確認している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	児童の特性や苦手なものや喜ぶもの等を活動に取り入れている。	今後も引き続き児童の事を考えた活動を取り入れていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	児童の特性や苦手なものや喜ぶもの等を活動に取り入れている。	今後も引き続き児童の事を考えた活動を取り入れていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	0	マンネリ化した活動にならないようにしている。	今後も引き続き児童の事を考えた活動を取り入れていく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0		職員のミーティングで話をしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0		日々の記録はもちろん、月1回は職員全員での振り返りを実施している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	0		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	8	0			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0		管理者か児童発達支援管理責任者が出席している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	8	0		送迎の際、先生の方に様子や変わった点等の話を聞き、支援に活かす様になっている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	5		現在のところ該当する児童はいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	2		保護者様や相談事等を通じて情報を提供して頂いている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8	0		卒業児童がいる場合は、必要に応じて情報提供している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	0		必要に応じて実施している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	8		現在のところしていない。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	0	8		現在のところしていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0		送迎時やLINE等により連絡をとっている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	4	相談を受けて助言程度の実施している。	ペアトレ研修を受けた職員が居ないので、トレーニングまでは至っていない。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0		契約時に説明している。また、変更があった場合は書面を配布している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0		適時対応をしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8	0		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0	毎月通信を配布している。	
	35	個人情報に十分注意している	8	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	LINEや手紙での連絡を取っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	6		児童の特性上で厳しい状況である。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	0		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	活動の一環として訓練している。	今後も年に数回の訓練を実施していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	3	常に保護者様と情報を共有して対応している。	今後も恒常的に連絡を取っていく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0		